



★地域 センターからの

★こんにちは「五反野駅前通り銀座会」です!



こんにちは。今までは、銀座会がお店の営業以外に地域に対してどんな活動をしているのかをお話ししてきましたが、今回は「銀座会は今後何をしていきたいか」についてお話しします。

先日、ある会員店舗がTV番組「ガイアの夜明け」で放映された魚を置かない魚屋さん、その名も「iPad 魚屋さん」(iPadとiPhoneを利用し山口県の萩や北海道小樽で今朝水揚げされた魚をその場で購入できる仕組み)を販売促進のために招いて街の人に紹介していました。iPadとiPhoneを使うと、魚屋さん以外の店舗でも産直物を購入したり、こちらから相手先に街の特産品として売り込みができるなど、インターネット販売とは一味違った仕組みを使うことができます。今やカタログ通信販売やインターネット注文販売など消費者の購入手段が多岐に渡り、店頭販売では限られたお客様にしか宣伝できなかった事が全国に宣伝できるようになったとも言えます。

今後は、銀座会もこのような新しい手法を取り入れて空き店舗の再活用や各お店のSNSを活用するなど、未来に向けた取り組みも行っていこうと考えています。

【中央本町センターは、五反野駅前通り銀座会さんと様々な連携を行い、地域貢献・地域活性化に



取り組んでまいります】

【五反野駅前通り銀座会】
<http://www.ginzakai.com/>
Mail: w.1010@basil.ocn.ne.jp

商店会って
なにしてるの?



★11月9日～15日は「秋の全国火災予防運動」

～1年に2回、避難訓練を行っています～

中央本町センターでは1年に2回、地震による火災発生を想定した避難訓練を行っています。今回は秋の全国火災予防運動に先駆けて、10月4日(金)に避難訓練と消火訓練を行いました。全体で71名の参加者があり、施設利用者の方々の協力的かつ冷静な行動で、避難誘導開始から約8分で避難が完了しました。実際に災害が起こった際はこの経験をお役立てください。

参加いただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。



募集中「君も私も消防官体験！」(11月16日 水曜日)



地域の皆さまとの防災活動の取り組みとして、足立消防署と連携した講座を年間通して行っています。

救急時の応急手当やAEDの使用方法を学ぶ「普通救命講習会」や親子を対象にした「消防官体験」など、何も起きない日常では意識しない救急施設もこういった講座や体験を通して消防署員と触れあい、より身近なものに感じていただければと思います。

この機会に、ご家族で地域の防災活動を体験してみたいでしょうか?

お・し・ら・せ



★アウトリーチ型活動報告

「ヤングシルバー体操会」さん

★訪問先: ル・ソラリオン西新井

★日時: 9月21日(土)

敬老の日のイベントでの体操プログラムは、グーパーの運動、肩の上下、足・首の運動、じゃんけん、歌(うさぎとかめ)を歌いながら腕の運動などなど...。講師の軽快な話や説明をしながら、皆さん一緒に呼吸法を体験していただきました。



「フアピカケ」さん

★訪問先: ツクイ足立弘道

★日時: 9月25日(水)

華やかな衣装をまとったダンサーが登場し、拍手の中、フラダンスショーが開演しました。♪紅葉、♪里の秋、♪ふるさとという馴染みの童謡を合唱したり、また今回は特別に講師のフラダンスも披露。また両手で石をたたきながらリズムを刻むフラダンスなど趣のある曲も楽しませていただきました。



「足立太極拳クラブ」さん

★訪問先: ツクイ足立弘道

★日時: 9月28日(土)

「簡化24式太極拳」という24の型を先生の説明を交えながら行いました。皆さんの演武に利用者さんはとても感動されていました。最後に利用者の皆さんと一緒に体を動かしたり、呼吸法を体験していただきました。



「ウクレレ同好会」さん

★訪問先: ゆうあいの郷 六月

★日時: 10月4日(金)

オープニングは、「旅愁」「浜辺の歌」など懐かしのメロディを利用者さんと一緒に大合唱。3名の女性フラダンサーが華やかな衣装をまとい、歌とフラダンスを披露していただきました。恒例の5回の衣装チェンジでは、黄色い歓声がどよめいていました。



★瀏江中学校 職場体験報告

9月26日、瀏江中学校の皆さんが地域学習センターに職場体験に訪れました。地域学習センターではこの時期、ミニコミ紙(毎月1日発行の情報誌)の製本作業(組み立て)がピークを迎えます。そこで生徒さんには、まずミニコミ紙の組み立てをお願いしました。4枚の印刷物を組んで1冊にする単純作業でしたが、皆さん黙々と作業に集中し、何と500部のミニコミ紙を一気に完成してもらいました。

午後からは、館内見学で屋上や地下の機械室など普段入ることができない場所を案内し、施設運営には欠かせない裏方の仕事も体験してもらいました。そして、午前中に組み立てたミニコミ紙を近隣マンションへポストイング(戸別配布)するという「大役」も見事に果たしてくれました。センター情報をしっかり地域にお伝えするのが大切なのです。約6時間と短い時間でしたが本当に助かりました。

瀏江中学校の皆さん、どうもありがとうございました。



センターについての各自の感想をまとめると「様々な年齢の人とコミュニケーションができる場所で、地域の方々に笑顔を届けるためにお仕事をするとてもいい施設だとわかりました。」とても素敵なコメントに感謝です。